
(二百文字小説) 正義の使者は愛と嘯く

みくも

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

（二百文字小説）正義の使者は愛と嘯く

【Nコード】

N4417S

【作者名】

みくも

【あらすじ】

二百文字の小説です。

彼は私に愛を説いた。

いかに素晴らしく、いかに偉大か。

愛があれば世界も救え、愛があれば瞼に彼女の姿を思い描くだけで、溢れる程の幸福も感じられる。

幼い私は彼に肩車されながら、バカみたいて思ってた。

愛なんて役に立たない。

愛なんて必要ない。

そんなものでお腹はいっぱいにならないし、母さんがいないのは寂しい事だ。

それでも正義の使者はやっぱり正しく、大人の私は愛を信じる。
ギターを鳴らして世界を救えと愛を囁く。

(後書き)

Copyright (C) 2011 mikumo/1979.
All rights reserved.

うそ・ぶ・く【×嘯く】

1 とぼけて知らないふりをする。「そんなことがあったかね、と平気な顔でー・く」

2 偉そうに大きなことを言う。豪語する。「絶対に優勝してみせる、とー・く」

3 猛獣などがほえる。鳥などが鳴き声をあげる。「虎ー・けば風騒ぐ」

4 口をすぼめて息や声を出す。口笛を吹く。うそむく。

5 詩歌を小声で吟じる。うそむく。

Yahoo辞書からの抜粋。

二番か三番くらいの意味で捉えていただければ幸い。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4417s/>

（二百文字小説）正義の使者は愛と嘯く

2011年5月31日12時20分発行